

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 26 年 8 月 28 日 (2014.8.28)

【公表番号】特表 2014-509479 (P2014-509479A)
【公表日】平成 26 年 4 月 17 日 (2014.4.17)
【年通号数】公開・登録公報 2014-019
【出願番号】特願 2013-551919 (P2013-551919)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/50 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 10 日 (2014.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

参照ピクチャを格納するための参照ピクチャバッファと、
前記参照ピクチャ及び前記参照ピクチャの動きベクトルを利用して、予測ブロックを生成するための動き補償部と、
を含み、
前記参照ピクチャの前記動きベクトルは、所定のレンジでクリップされることを特徴とする映像復号化装置。

【請求項 2】

前記参照ピクチャの前記動きベクトルは、大きさ調整され、前記レンジでクリップされることを特徴とする請求項 1 に記載の映像復号化装置。

【請求項 3】

前記動きベクトルは、所定の固定値レンジでクリップされることを特徴とする請求項 1 に記載の映像復号化装置。

【請求項 4】

前記参照ピクチャの前記動きベクトルは、所定のブロック単位に格納され、
前記動き補償部は、前記所定のブロック単位に格納された前記参照ピクチャの前記動きベクトルを利用して、前記予想ブロックを生成することを特徴とする請求項 1 に記載の映像復号化装置。

【請求項 5】

前記動きベクトルの X 成分および Y 成分は、前記固定値レンジでクリップされることを特徴とする請求項 3 に記載の映像復号化装置。

【請求項 6】

前記動きベクトルは、インター予測モードで復号化されたブロックの動きベクトルであることを特徴とする請求項 1 に記載の映像復号化装置。